

Nissin
DIGITAL

i600

キヤノン、ニコン、ソニー用

取扱説明書



ニッシン製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用にあたっては、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。また、カメラの操作・機能に関しましては、ご使用になるカメラの取扱説明書をご参照ください。

対応カメラ

最新の対応カメラ一覧表は、
<https://www.nissin-japan.com>でご確認ください。

製品保証について

本製品はメーカー保証が適用されますので製品添付の保証書、購入証明書を大切に保管してください。なお、本製品の付属アクセサリは消耗品扱いとなりますのでメーカー保証は適用されません。

安全上のご注意 ■必ずお守りください。

ご使用になる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止する為、お守り頂くことの説明をしています。よくお読みになり取扱いにご注意ください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電したり、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずお守り下さい。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物理損害の発生が想定される内容を示しています。必ずお守りください。



警告

- 熱くなる、煙が出る、焦げ臭い、液漏れ、変色などの異常が発生した時は、やけどに十分な注意して速かに電池を取り外してください。
- 本機は高電圧の部分がありますので、絶対に分解しないでください。修理の場合は、弊社に直接またはご購入頂いた店舗にご依頼下さい。
- 落としたり、破損したりした場合、または機器の中に物体が落ち込んだ場合には、絶対に露出部分に触れないでください。
- 人の目の前（特に乳幼児）に近づけて発光しないでください。目の近くで発光させると、視力傷害を起こす危険性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。
- コップ、化粧品、薬品の入った容器のそばで使用しないでください。こぼれたり、機器の中に入ったりした場合、火災、感電または傷害の原因になります。
- 本機は防水ではないので、雨がかかる場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
- 自動車など40℃を超えるような高温になる場所に放置しないでください。
- 可燃性ガスおよび揮発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所で使用しないでください。
- 走行中の車輛に向けてフラッシュをたかないで下さい。
- 発光面を人の身体に近づけて発光しないでください。怪我する恐れがあります。
- バッテリーは正しくセットして下さい。極性を間違えると液漏れや発火、爆発の原因になります。



注意

- 電池を高熱にさらさないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 連続発光後は本体（特に発光パネル部）や電池が熱くなっていますので、火傷にご注意ください。
- 不安定な場所で本機を使用しないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりすることにより怪我の原因となる場合があります。
- 強い衝撃を与えたり、床に投げつけたりしないで下さい。



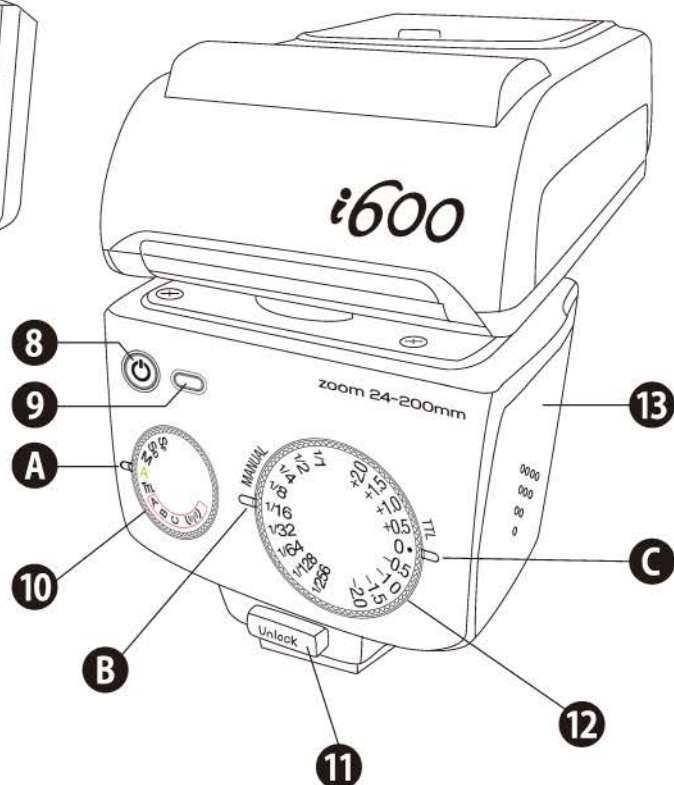
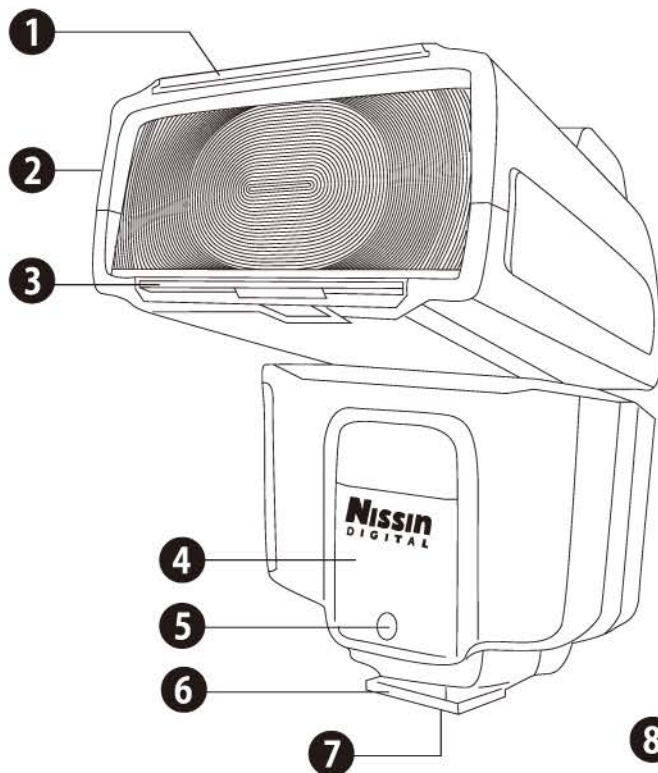
その他の注意

- ベンジンやシンナー、アルコールなどで本機を拭かないでください。変色や変形の原因となります。汚れのひどいときは柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本機を長期間使用しない場合は、液漏れ防止のため電池を抜いて保管してください。

目次

対応カメラ	2
製品保証について	2
安全上のご注意	3
各部名称	5
省電力モードと過熱防止機能について	6
基本操作	7
電池を入れる	7
カメラに装着する／カメラから取り外す／電源を入れる	8
モードダイヤル	9
各モードと機能	9
フルオート(A)モード	10
TTLモード	11
マニュアル(M)モード	12
SF／SDモード	13
光学式ワイヤレスTTLスレーブモード (Ⓔ)	14
スレーブ撮影方法	15
発光部の操作	16
キャッチライトパネル／ワイドパネル／マニュアルズームでの使用方法	16
バウンス	17
その他の機能	18
オートフォーカス補助光／後幕シンクロ	18
ハイスピードシンクロ	19
ガイドナンバーテーブル	20
トラブルシューティング	20
主な仕様	21

各部名称



- ① キャッチライトパネル
- ② 発光部
- ③ ワイドパネル
- ④ ワイヤレスセンサー
- ⑤ オートフォーカス補助光
- ⑥ 取付足
- ⑦ シュー接点ピン
- ⑧ 電源ボタン
- ⑨ パイロットランプ(テスト発光ボタン)
- ⑩ モードダイヤル
- ⑪ シューロック/ロック解除ボタン
- ⑫ 光量調整ダイヤル
- ⑬ 電池カバー
- A モード表示ランプ
- B 発光量表示ランプ(M/SD/SFモード時)
- C 調光補正值表示ランプ(TTLモード時)

省電力モードと過熱防止機能について

省電力モード

電池の消費を防ぐために、本機は A モード、TTL モード & マニュアルモードでは約 2 分間、SD モード / SF モード / ワイヤレス TTL スレーブモードでは約 5 分間電源を入れたまま何もしないでくと自動でスタンバイモードに切り替わります。

本機がスタンバイモードになっている間は、パイロットボタンが 2 秒ごとに点滅し、ストロボ本体がスタンバイモードになっていることを示します。本機を再びオンにするには、カメラのシャッターボタンを半押しするか、ストロボ本体のいずれかのボタンを押してください。

本機を 60 分以上使用しない場合は、自動で電源オフになります。再度電源を入れるには、ストロボ本体の電源ボタンを押してください。

過熱防止機能

大光量の発光を 20 ～ 30 回続けた場合に、本機は回路を保護するために自動的に過熱防止機能が働きます。過熱防止機能が作動している間、パイロットランプは 1.5 秒毎に赤点滅します。過熱防止機能は自動的に解除され、再び使用できるようになります。

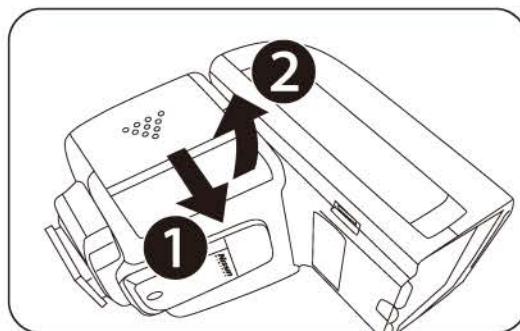
基本操作

電池を入れる

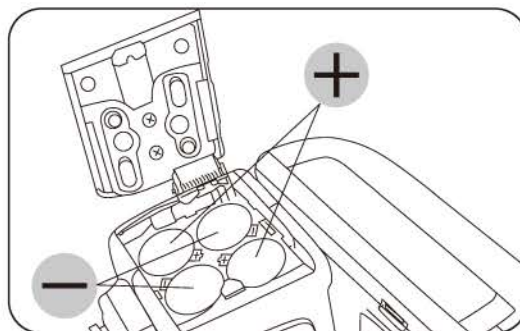
使用できる電池：ニッケル水素、アルカリ乾電池、リチウム乾電池※

※リチウムイオン充電電池は使用できません。

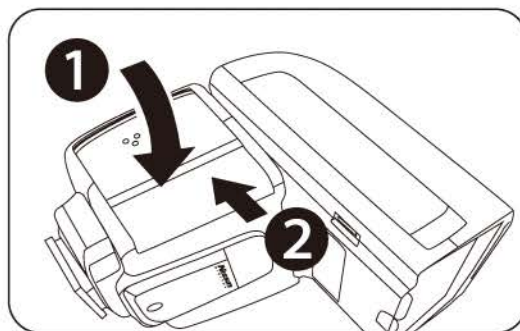
1. 電池カバーを図の①、②の順番に開きます。



2. 単3形電池4本の+、-の向きを、表示に合わせて正しく挿入します。



3. 電池カバーを閉める時は、カバーを押しながら①、スライドさせてください②。



ストロボのチャージ時間が30秒以上かかるようになった場合は新しい乾電池かまたは充電済みの充電電池に交換してください。

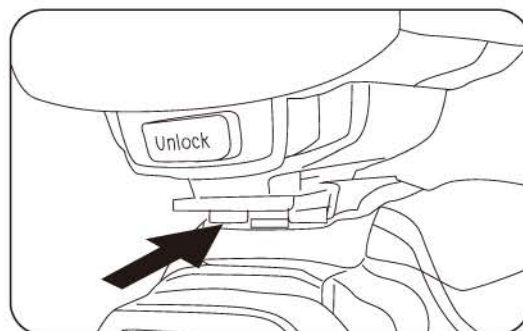
① 注意

電池は、同じブランドで同じタイプの新しい電池を使用してください。同時に交換することをお勧めします。また、充電電池の場合は、すべて同時に充電した電池を使用してください。

基本操作

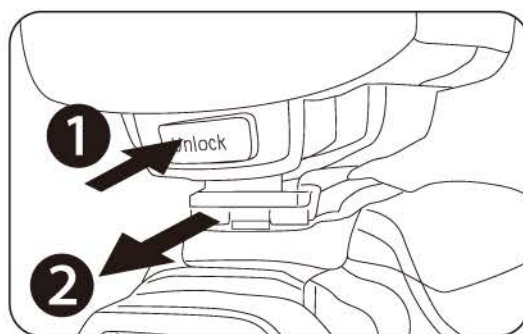
カメラに装着する

1. 本機の取付足をカメラのホットシューに挿入します。
2. ロックピンにより固定されるまで、しっかり奥まで差してください。



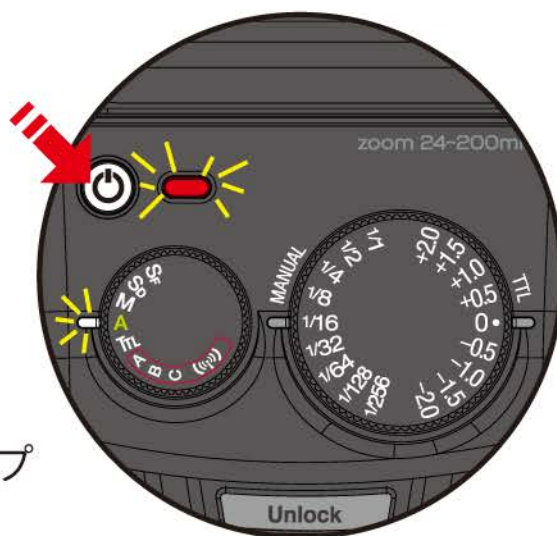
カメラから取り外す

1. [Unlock] (ロック解除ボタン) を押しながら①、ホットシューから引き抜きます②。



電源を入れる

- 「電源ボタン」を押すと電源が入り、パイロットランプが赤色に点灯し充電が開始されます。
- 充電が完了すると、パイロットランプが赤色から緑色に変わり、本機が使用可能になります。
- テスト発光を行う場合はパイロットランプを押してください。
- 電源を切る場合は、「電源ボタン」を1秒間押してください。

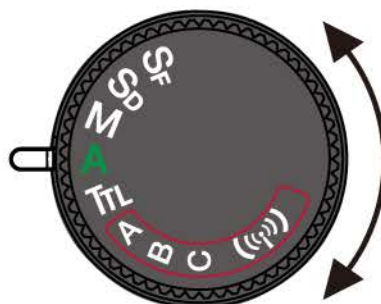


モードダイヤル

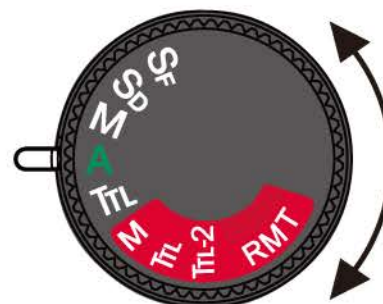
各モードと機能

ダイヤルを回して
モードを選んで
ください。

キヤノン、ニコン



ソニー



A	フルオートモード カメラに取り付けて撮るだけで自動的に光量を調整します。
Tv	TTLモード 自動的に光量を調整します。調光補正により微調節ができます。
M	マニュアルモード 発光量を手動でセットします。
S_D	デジタルスレーブモード
S_F	アナログ(フィルム)スレーブモード
((i)) (キヤノン /ニコン)	光学式ワイヤレスTTL スレーブモード(A/B/C)
RMT (ソニー)	光学式ワイヤレスリモートモード(RMT-M / RMT-TTL / RMT2-TTL) RMT M = マニュアルリモート / RMT TTL = TTL リモート / RMT2 TTL = TTL リモート2 *MENU 設定の [WL CTRL] (ワイヤレスコントロールストロボモード設定) が [CTRL] に設定されている場合、ワイヤレスリモート設定のリモートグループは、REMOTE でも REMOTE 2 でも同じ動作になります。 ** コントローラーを含む最大3グループと、オフカメラ用ストロボ本体の2グループの間で、発光比率を制御しながらワイヤレスストロボ撮影が可能です。 ***RMT-M モード - 本機の光量調整ダイヤルを回転させて光量を調整します。

モードダイヤル



フルオートモード

本機をAモードにセットした時、下記のカメラモードでTTL自動調光システムが連動します。フルオートモードは、ほとんどの操作をカメラ側で行うことができる、初心者向けのモードです。

キヤノンカメラ

カメラの撮影モードが[□] (フルオート)、[P]、[AV]、[TV]、[M]の時に、E-TTL II / E-TTL自動調光を行うことができます。

ニコンカメラ

カメラの撮影モードが[

ソニーカメラ

カメラの撮影モードが[

- モードダイヤルを回してAモードを選びます。
- シャッターボタンを半押しして、被写体に焦点を合わせます。
- カメラのビューファインダーにシャッター速度、絞り、フラッシュマークが表示されます。
- シャッターボタンを押して撮影します。本機が発光し、カメラの液晶画面に撮影画像が表示されます。
- レンズ焦点距離を変えると、本機の発光ヘッド内のユニットが自動で移動し、その焦点距離を効率よくカバーします。24mm～200mm (35mm判換算) をカバー。

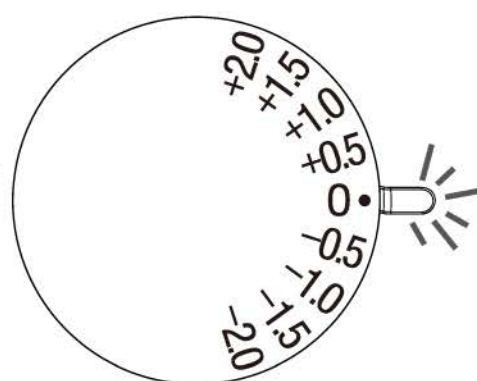
モードダイヤル



TTLモード

TTLモードでは自動で最適な露出を得ることができますが、任意で調光補正機能を使った微調整を行うこともできます。本機は、本機は、光量調整ダイヤルにより素早く確実な調光補正が行えますので、とても便利です。

- モードダイヤルをTTLモードまで回します。
- 調光補正值表示ランプ(右LED)が点灯します。
- ストロボ調光補正レベルを設定するには光量調整ダイヤルを回します。
- TTL調光補正は、-2.0、-1.5、-1.0、-0.5、0、+0.5 +1.0、+1.5、+2.0 EV、の9段階1/2EV刻みで行われます。
- シャッターボタンを半押しして、被写体に焦点を合わせます。
- カメラのビューファインダーにシャッター速度、絞り、フラッシュマークが表示されます。
- シャッターボタンを押して撮影します。本機が発光し、カメラの液晶画面に撮影画像が表示されます。
- レンズ焦点距離を変えると、本機が発光ヘッド内のユニットが自動で移動し、その焦点距離を効率よくカバーします。24mm～200mm(35mm判換算)をカバー。
- ストロボ、カメラ、両方の調光補正がセットされている場合は、両方の補正值が合算されます。



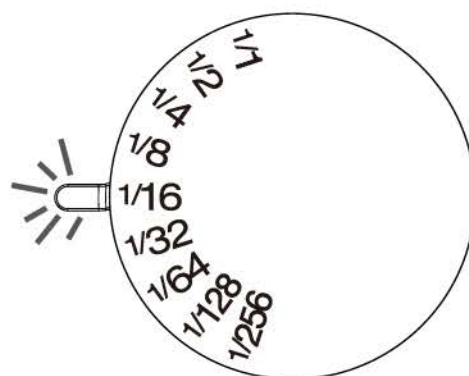
モードダイヤル

M

マニュアルモード

マニュアルモードでは、発光量を手動で調節することができます。発光量は1/1から1/256まで1EV刻みで調節できます。

- モードダイヤルを**M**モードまで回します。
- 発光量表示ランプ(中央LED)が点灯します。
- 光量調整ダイヤルを回して発光量をセットします。
- 撮影画像の露出を確認し、最適な露出が得られない場合は、発光量を調節します。



モードダイヤル

Sf

アナログ(フィルム)スレーブモード

マニュアル調光発光にワイヤレス同調します。

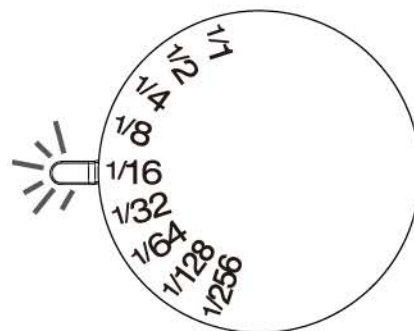
SD

デジタルスレーブモード

デジタル一眼カメラのプリ発光を伴ったTTL調光発光にワイヤレス同調します。

SFモード／SDモード共通

- モードダイヤルを「SD」/「SF」モードに回します。
- 発光量表示ランプ(中央 LED)が点灯します。
- 光量調整ダイヤルを回して発光量をセットします。



モードダイヤル



光学式ワイヤレスTTLスレーブモード

ワイヤレスTTLのスレーブストロボとして同調し、TTL発光を行います。本モードは純正ストロボの光学式ワイヤレスシステムと互換性があります。

キヤノン用／ニコン用

- モードダイヤルを回して「」モードのグループ **A** または **B** または **C** を選びます。
- マスターユニット側のグループ設定で同じグループを選び、モード、設定値などをセットして、コントロールしてください。

※マスターユニット側をどのチャンネルに設定しても本機は同調します。

ソニー用

- モードダイヤルを回して「RMT」モードの **M** または **TTL** または **TTL2** を選びます。
- マスター側のグループ設定で同じグループを選び、モード、設定値などをセットして、コントロールして下さい。

※マスターユニット側をどのチャンネルに設定しても本機は同調します。

■ マスターユニットとして使用できる機器

キヤノン用： 光学式ワイヤレス TTL マスター機能付きキヤノン製ストロボ、
トランスミッター ST-E2、マスター機能を搭載した内蔵ストロボ

ニコン用： 光学式ワイヤレス TTL マスター機能付きニコン製ストロボ、
ニコン製トランスミッター、マスター機能を搭載した内蔵ストロボ

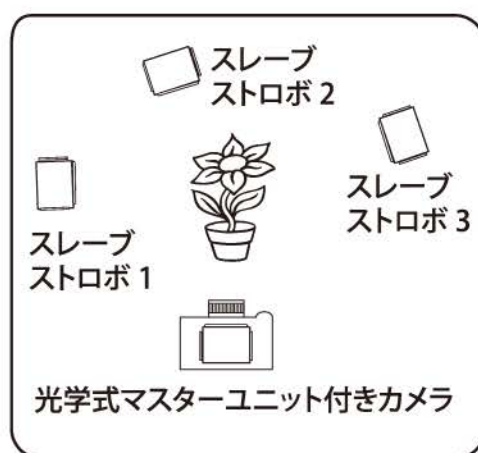
ソニー用： 光学式ワイヤレス TTL マスター機能付きソニー製ストロボ、
マスター機能を搭載した内蔵ストロボ

スレーブ撮影方法

カメラをストロボ撮影モードに設定します。被写体に向けて撮影します。スレーブストロボはマスターストロボに同期して、別の方向から追加発光することができます。

ズーム設定位置は、i600 をスレーブユニットとして使用している間は、35mm の焦点距離に自動で設定されます。また、手動での変更も可能です。

- スレーブストロボ（本機）を任意の場所に設置します。
- マスターストロボまたはコマンダーのテスト発光を行い、スレーブストロボの同調を確認します。
- スレーブストロボが同調すれば、撮影可能になります。



※被写体の周辺に設置できるストロボの数に制限はありません。

※スレーブ時オートパワーオフ機能により 60 分後に電源オフになります。

※スレーブ時はスタンバイモードには切り替わりません。

※i600 の設置場所によっては、スレーブ同調しない場合があります。

⚠ 重要

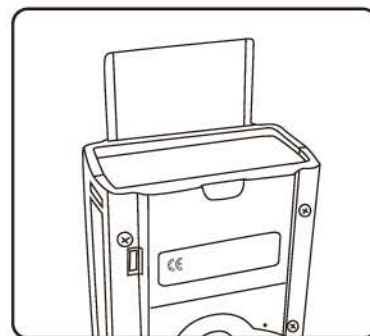
金属製のアクセサリシューに本機を取り付ける場合は、接点がショートしないようにご注意ください。

発光部の操作

近距離撮影やポートレート用のストロボ、光が被写体に対してシャープすぎたり、強すぎたりしない場合は、キャッチライトパネルやオプションのディフューザーを使用します。

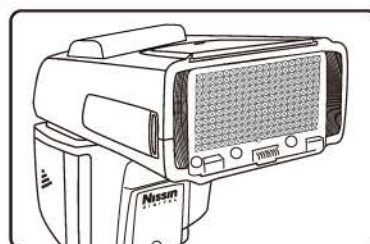
キャッチライトパネル

- バウンス撮影時、近距離でキャッチライトパネルを使用すると、被写体の人物の目に光が差し込み、表情明るくなります。



ワイドパネル

内蔵のワイドパネルを引き出して、図のように発光部の前に被せると、16mmの撮影画角に対応できます。



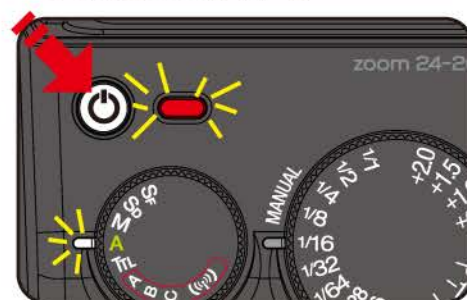
マニュアルズームでの使用方法

- M、SD、SF、「(M)」の時、マニュアルズームの設定ができます。
- マニュアルズーム機能を作動させるには、電源オンの状態で電源ボタンを3秒間押し続けます。

3秒間押すと緑から青(24mm)に、そのまま押し続けるとピンク(50mm)、水色(80mm)、黄色(105mm)、白(200mm)、そして最初に戻り緑(オート)となり、循環していきます。

ポジションを選ぶときは電源ボタンから指を離してください。

3秒間押し続ける

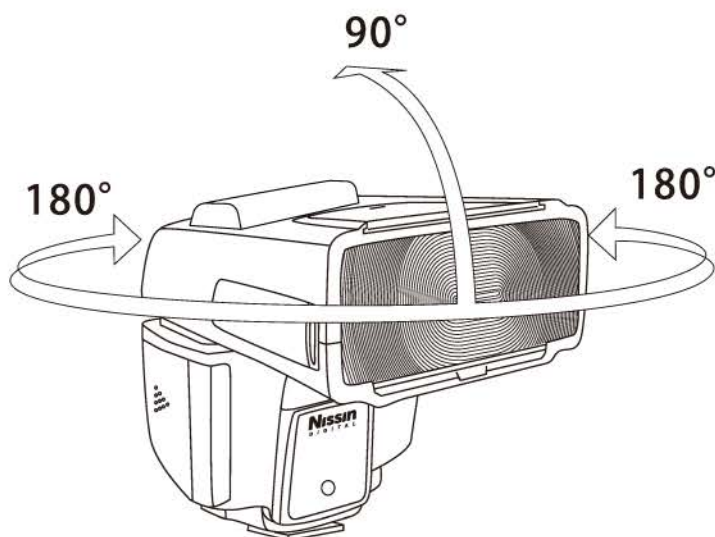


発光部の操作

バウンス

主に屋内で、天井や壁などにストロボ光を反射させてバウンス撮影を行うと、被写体の不自然な陰を和らげ、自然な感じになります。

- フラッシュヘッドを手動で上下左右方向に向きを変えます。
- ヘッドは、上方に90°、左右にそれぞれ180°回転します。



❗ 注意

- ・バウンス時、照射角はオートズームに設定している場合は50mmに固定されます。
- ・天井や壁までの距離が離れているときは、ストロボ光が十分反射せず、効果を得られない場合があります。
- ・バウンス撮影時のストロボ光は、天井や壁の色の影響を受け着色する場合があります。
- ・バウンス時は、光が減衰します。効果が十分得られない場合は、カメラのISO感度を上げるなど、露出設定を調節してください。

その他の機能

オートフォーカス補助光

低コントラストの被写体や、暗所で撮影を行う場合、オートフォーカス補助光を被写体に自動的に照射し、合焦しやすくします。照射された赤色光は、撮影画像には写りません。

※一部のカメラ（ミラーレス一眼カメラ等）では、照射されません。

後幕シンクロ

後幕シンクロでは、後幕が閉まる直前にストロボが発光します。この機能を低速シャッター速度で使用すると、動いている被写体がそのように動くマークを後ろにつけて表示されます。

A rectangular icon with a black border. Inside, the word "REAR" is written in bold, black, sans-serif capital letters. To the right of the text is a small, stylized black lightning bolt symbol.

その他の機能

ハイスピードシンクロ

- i600は1/8000までのシャッタースピードに対応するハイスピードシンクロ機能を搭載しています。

設定方法

- キャノン用 カメラのメニューでハイスピードシンクロを設定します。
- ニコン用 カメラのメニューでオート FP に設定します。
- ソニー用 i600 のパイロットランプを長押しします。（バウンス時は同機能が解除されます）

スローシンクロ ニコン用のみ

低照度時や夜間の撮影では、主被写体と背景の両方に適正露出になるように低速シャッタースピードでストロボを制御します。



赤目軽減発光 ニコン用のみ

被写体の目が赤くなるのを防ぐために、撮影直前に3回の制御されたストロボを発光します。赤目緩和機能はスローシンクロとの併用も可能です。



ガイドナンバーテーブル (ISO100・m) 照射角は35mm 版換算値

焦点距離	パワーレベル								
	Full	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32	1/64	1/128	1/256
24mm	27	19	13	10	7	5	3	2	2
28mm	29	20	14	10	7	5	4	3	2
35mm	32	23	16	11	8	6	4	3	2
50mm	39	28	20	14	10	7	5	3	2
70mm	42	30	21	15	11	7	5	4	3
85mm	45	32	23	16	11	8	6	4	3
105mm	50	36	25	18	13	9	6	4	3
135mm	54	38	27	19	13	10	7	5	3
200mm	60	42	30	21	15	11	7	5	4

トラブルシューティング

ストロボがチャージしない

- 電池の向きを確かめて、逆向きになっている場合は正しく挿入してください。
- 電池が消耗していないか確認して、消耗している場合は新しい電池を入れてください。

ストロボが発光しない

- ストロボがしっかり固定されていない場合は、奥までしっかり装着してください。
- ホットシュー接点が汚れている場合は、接点を乾いた布で拭いてください。
- オートパワー機能により電源 OFF になっている場合は、電源を入れ直してください。

写真が露出オーバーまたは、アンダーになる

- モードを確認してマニュアルモードになっている場合は、「TTL」モードに設定してください。

主な仕様

マウント	キヤノン、ニコン、ソニー用
ガイドナンバー	60 (ISO100/m・照射角 200mm)
	27 (ISO100/m・照射角 24mm)
カバー焦点距離	24~200mm (オートズーム)・ワイドパネル使用時は 16mm
電源	単 3 形電池 4 本 (別売)
電池格納	本体に直接挿入
発光間隔	0.1 秒 - 5.5 秒
発光回数	220 - 1,700 回 (2000mAh 充電電池)
閃光時間	1/800 - 1/20,000 秒
色温度約	約 5,600K
調光方式	TTL
ストロボ調光補正	-2 to +2 EV 1/2 EV ステップ
光学式ワイヤレス	ワイヤレス TTL スレーブ, 非 TTL スレーブ※1 (SD モード、SF モード)
ヘッド可動範囲	上方 90°・下方 0°・左 180°・右 180°
ストロボ露出制御	先幕、後幕シンクロ、ハイスピードシンクロ、 赤目軽減緩和機能、スローシンクロ (ニコン用のみ)、 FE / FV ロック (カメラ側でセットする)
AF 補助光	有効距離 0.7 - 5m
背面操作部	電源ボタン、パイロットランプ、モードダイヤル、光量調整ダイヤル
マニュアルモードパワーレシオ	1/256 - 1/1
大きさ	約 112(H)×73(W)×98(D)mm
質量	約 300g (電池除く)

※1. SDモードはプリ発光調光方式のストロボに、SFモードは 1 回のみ発光する方式のストロボに連動するモードです

※製品の仕様は、改良などにより予告なく変更することがあります。

Nissinは、ニッシンジャパン株式会社の登録商標です。その他記載の会社名や製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

★カメラとの対応状況やファームウェアアップデートについては、ニッシンジャパンのホームページ各製品情報をご覧ください。

★お問い合わせはホームページのお問い合わせフォームをご利用ください。

Nissin ニッシンジャパン株式会社

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北1丁目17番5号 上野ビル2F

ニッシンジャパンのホームページ <https://www.nissin-japan.com>

Ver. 20102601